

ふれあいのまち

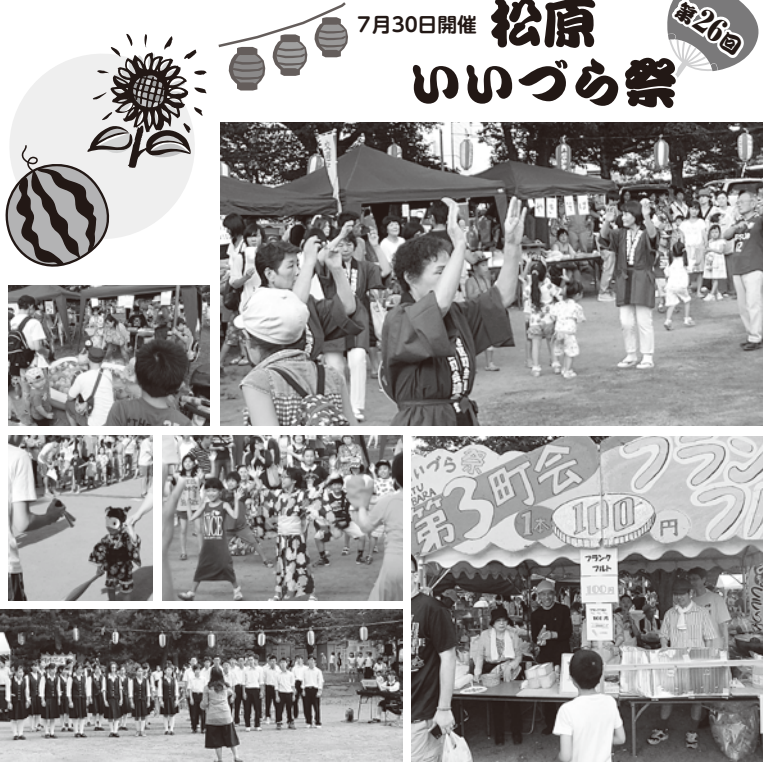


松原かわら版

世帯数 1,178戸
人口 3,037人
(平成 28.9.1 現在)

7月30日開催 **松原**
いづら祭

第26回



お久しぶり！元気があったあ？
大きくなったね！
そんな出合いの場の会話が
弾むいづら祭が夏真っ盛り
に開催されました。

午後3時オープニング直後
に、最も人気の高い明善中学
校の吹奏楽部と合唱団は今年

も感動を与えてくれました。
「ミス・サイゴン」の演奏は
素晴らしく、合唱最後の明善
中学校校歌は観客OBも歌う
という一体感を示しました。

また、松原地区の中学生に
は、会場作り、プログラム運
営、店舗の手伝い等で祭りの

重要な戦力として活躍して貰
いました。

一例として、スイカ割りでは
目隠しの幼い子供をスイカ
まで優しく誘導して当たった
らラップホーンを鳴らす、自
分の幼い弟妹のように接する
姿に微笑ましい地域のつなが
りを感じました。

今年はプログラムを一部変
更しました。例年人気が高いマ
スの掴み取りを断念しました。
これまでこのプログラムを担
当してきた各町会の選挙管理
正副委員の組織がなくなった
ことに加え、掴み取り以降に
場所を移動して内臓取り・ク
シ刺しから残さず食べるまで
のプロセスの衛生リスクを配
慮し、年々高まる衛生への要
求に対応できないため取り止
めました。代わりに多くの子
供たちが楽しめる「ビンゴ
ゲーム」を行いました。結果
は場所を全て埋める程の子供
たちが集まり、大盛況のうち
に進めることが出来ました。

また、事前に配布したプロ
グラムに記載のないサプライ
ズショーを取り入れてみまし
た。ボランティア「社会貢献
隊」の方々が予告なしで急に
会場から湧いて出るかのよう
にダンスを始めるフラッシュ
モブという試みです。

会場の皆さんはビックリ
されたと思いますが、最後
のダンスでは子供をはじめ
として多くの人が一緒に
踊ってくれました。

全般を通して、今年も皆
様方のお力添えで楽しい
いづら祭の思い出を残すこ
とが出来ましたことに感謝
申し上げます。

町会連合会長 本田博志

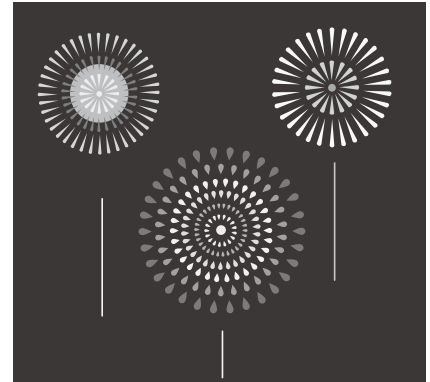
目撃せ!!
東京オリンピック

松原に東京オリンピックを
目指す若者がいる。

五町会に住む、塩入龍斗君
高校三年生である。五歳から
兄の影響で水泳を始めた。平
泳ぎを得意種目とし、十数年
以上、自己ベストの更新やラ
イバルと戦っている。

全国大会で好成績を収め、
現在も頑張っている。昨年、
レベルの高い環境を求め、大
町SSに移り、練習に励んで
いる。

十月に北海道で行われる全
国ブロック大会を最後にシー
ズンオフになるが、練習は次
の大会に向けて続けていく。
来年は大学生。大学に行く



でも水泳を続けるという。
四年後の東京オリンピック
は大学四年生で迎える。「大
学に行ったら、いろいろな経
験を積んで頑張りたい。」と
力強く話してくれた。

夢多き若者の活躍にエール
を送りたい。松原から世界に
羽ばたいてほしい。

頑張れ!! 龍斗君!!
小学生の時のあどけない龍
斗君の笑顔は変わらず、好青
年に成長した姿にご両親の愛
情を感じました。未来に向
かって、夢を持つさらさらと
した瞳が印象的でした。



▲塩入龍斗君

★ 東南ブロック球技大会



8月28日に芳川、中山、内田、寿、寿台、松原の6地区が参加し、東南ブロック球技大会が開催されました。

松原地区からは、軟式野球、マレットゴルフ男女、ソフトバレーボール、新卓球の5種目に出場しました。

当日は朝早くから体協の皆さんに大会を運営していただきました。

選手・体協の皆さんおつかれさまでした。

◆◆◆ 大会結果 ◆◆◆

軟式野球	…	優勝 (同率)	勝位
マレットゴルフ男子	…	準優	勝位
マレットゴルフ女子	…	4	位
ソフトバレーボール	…	5	位
新卓球	…	4	位

青山様・ぼんぼん

今年も8月3・4日に、松原地区で青山様・ぼんぼんが行われました。

最後の青山様ぼんぼんを終えた小学6年生の2人に感想をいただきました。

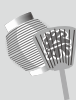
青山様・ぼんぼんに参加して、歌やおみこしの音をきき、家から人が出てきてくれた時はうれしかったです。これからも青山様・ぼんぼんは続けてほしいです。

子ども会会長

私の最後の青山様・ぼんぼん。私はいこを担当しました。とても楽しかったです。去年のお金は今年。今年のお金は来年へ。そのために、一生懸命がんばり楽しむことができました。これからもうれしかったです。

私は松原2(支部)の副地区長です。みんなをまとめたりするのが大変でした。でも、歌の声もいっぱい練習して大きな声を出すことが出来ました。みんなで協力して楽しい青山様・ぼんぼんでした。

子ども会副会長



コラム 北の旅人

緊急地震速報が発令されると、今度は何か?と何時もドキッとします。

松本市では災害時の医療救護活動の実践マニュアルが策定されているとのこと。熊本地震をきっかけに、久しぶりに松本市のホームページで災害対策について調べてみた。

この医療救護活動は、震度6弱以上で適用されるが、適用された場合に、注目すべきは各救護所での医療救護を近隣の医師達があたることである。つまり、災害時に家具の倒壊等で負傷し、近くの医院へ駆け込んでも医師は、救護所となる明善中学校へ駆けつけており、医院では不在になっている。

そこで、自宅にいる時に大地震が起きた際には、まず近くの松原の各公園へ避難し、負傷している際には、救護所となる明善中学校へ行くようにすることを常に忘れずに。

また、9月1日は防災の日。これを機に自宅にある防災用品の見直しをしましょう。

